

道づくりのテーマと施策

テーマ1

県土の活力向上と経済発展につながる高速道づくり

人やモノの流れが拡大し、活力ある産業活動が展開され活性化する地域を目指します

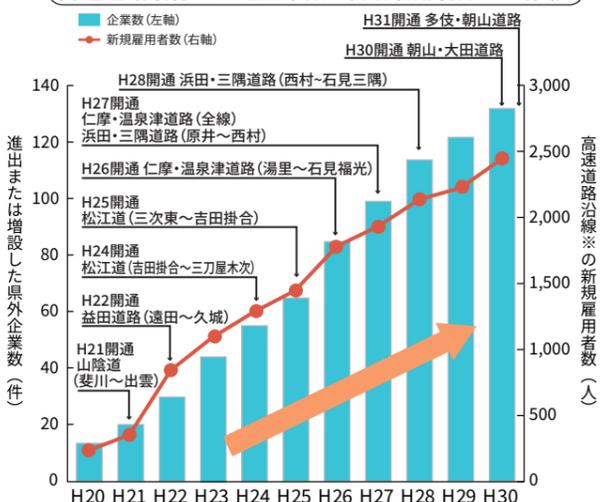
県内産業の競争力強化や交流人口の拡大を支援する道づくりを進めます

現状と課題

これまでの道路整備により、一定の効果が現れています

立地企業や雇用が拡大

高速道路沿線の立地企業数と新規雇用者数※の推移



※最寄のIC等から概ね10km以内の地域の進出・増設企業
資料：島根県企業立地課（立地計画認定企業の集計値）

高速道路開通とともに立地企業・新規雇用者数が増加

広域交流や観光振興を支援



松江道・尾道道開通による移動時間

松江市	尾道市
【開通前】国道54号～国道184号経由 3時間50分	【開通前】国道54号～国道184号経由 3時間50分
【開通後】松江道・尾道道経由 2時間30分	【開通後】松江道・尾道道経由 2時間30分
80分短縮!!	

出典：国土交通省

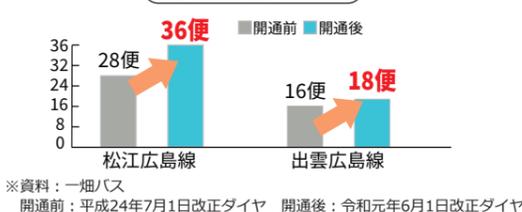
公共交通の利便性が向上

松江広島間・出雲広島間の高速バスの所要時間

松江駅	広島バスセンター
【開通前】国道54号経由 3時間15分	【開通前】国道54号経由 3時間15分
【開通後】松江道経由 2時間58分	【開通後】松江道経由 2時間58分
17分短縮!!	

出雲市駅	広島バスセンター
【開通前】国道54号経由 3時間10分	【開通前】国道54号経由 3時間10分
【開通後】松江道経由 2時間59分	【開通後】松江道経由 2時間59分
11分短縮!!	

高速バスの運行便数



※資料：一畑バス

開通前：平成24年7月1日改正ダイヤ 開通後：令和元年6月1日改正ダイヤ

移動にかかる所要時間が短縮バスの運行便数も増加

代替路が確保され、道路の信頼性が向上

・国道9号では過去10年間（H21-H30）で全面通行止となった回数は**21回**、累計規制時間は**1,478時間**

・大幅な迂回を強いられ、生活や物流活動に支障をきたしました



山陰道の整備により国道9号の通行止め時の代替路が確保され道路の信頼性が向上

出典：国土交通省

しかし、県内の高速道路は十分ではありません、山陰道の早期開通が急務です

松江市からの移動時間・距離の比較（R1年時点）

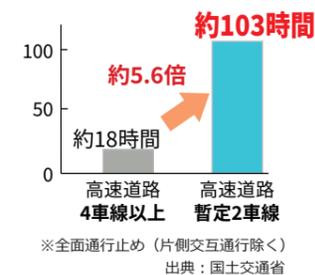


県内の高速道路の供用率



暫定2車線区間には、様々な課題があります

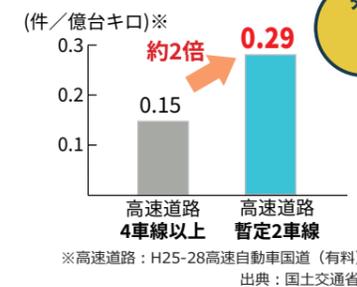
区間あたりの年間通行止め時間（H29）



大型トラックの立ち往生により渋滞が発生豪雪時には通行止めによる除雪が必要で、作業が長期化

4車線以上と比べて全面通行止めになりやすい

死亡事故率



死亡事故率が高く暫定2車線では安全性が不十分



暫定2車線は死亡事故率が高い
出典：国土交通省

車線数による災害時の交通規制

■暫定2車線の場合
事故や災害時には全面通行止めが必要

■4車線の場合
被災の際の通行止めリスクが低い

低速車両による速度低下のイメージ



低速車両の追越ができず速度が低下

4車線以上と比べて時間的信頼性が低い

平成30年7月豪雨時の高速道路の通行止め状況

・「平成30年7月豪雨」では、中国道や山陽道が、通行止めとなり、大型トラックは山陰道を迂回

・山陰道は未だ途切れ途切れのため、山陰道、国道9号で大規模な渋滞が発生



迂回した大型トラックによる渋滞

山陰道の大型車断面交通量の比較

H29.7月平均 約2,000台/日

4倍に増加

H30.7月8日 約8,000台/日

4 道づくりのテーマと施策

施策 1-1 高速道路ネットワークの早期整備

山陰道の早期全線開通に向け、国に強く働きかけるとともに、積極的に国に協力し、円滑な整備促進を図ります

山陰道の未供用区間の整備



山陰道(県内)の整備状況

凡例	延長	比率
開通済区間	129.8km	67%
事業中区間	55.4km	29%
未事業化区間 (調査区間)	約9km	4%
合計	約194km	

※令和2年4月1日現在

施策 1-2 安全・快適に走行できる高速道路の整備

「高速道路における安全・安心基本計画」に位置付けられた優先整備区間の4車線化など、安全性、信頼性向上のための効果的な対策が早期に推進されるよう、国等に強く働きかけます

暫定2車線区間の4車線化

安全・快適・円滑な通行が可能



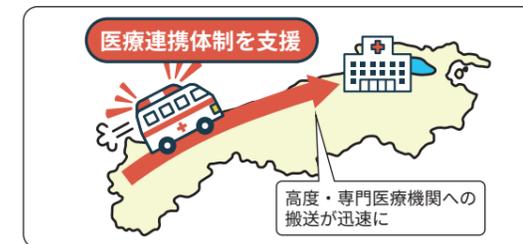
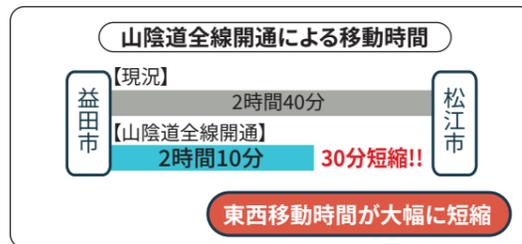
- 4車線化優先整備区間(有料区間)**
『高速道路における安全・安心基本計画』
(R1.9.10国土交通省道路局)
- 山陰道 安来道路
 - 山陰道 松江玉造IC～宍道JCT
 - 松江自動車道 三刀屋木次IC～宍道JCT
 - 山陰道 江津道路 江津IC～江津西IC
 - 浜田自動車道 瑞穂IC～金城PAスマートIC

暫定2車線区間のワイヤロープ設置

正面衝突事故を防止し
安全性が向上



整備により期待される効果



東西が
近くなって
行きやすくなるね!

県西部にも
魅力ある観光地が
たくさんあるよ!

山陰のモンサンミッシェル

絶好の撮影スポット

幻の鉄道遺産

日本海を一望できる
海辺のリゾート

宮ヶ島衣毘須神社(益田市) 道の駅「ゆうひパーク三隅」(浜田市) 広浜鉄道今福線(浜田市) 道の駅「キララ多伎」(出雲市)

太鼓谷稲成神社(津和野町)

仁摩サンドミュージアム(大田市) 石見銀山・大森の町並み(大田市)

三瓶山(大田市)

圧巻の千本鳥居

世界一大きな砂時計

今も残る古い町並み

自然が創る雄大な景色

目指す10年後の姿

指標名	現 状(R1)※1	目 標(R6)	目 標(R11)
山陰道の供用率	67%	78%	90%※2

※1 年度当初の実績値
※2 目標 (R11) 時点において未供用と想定している区間(浅利～江津、久城～高津、須子～県境)